

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2016-90951(P2016-90951A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-228529(P2014-228529)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

G 02 B 5/02 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

G 02 B 5/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

偏光子と該偏光子の一方側に配置された表面保護フィルムとを備え、該一方側に偏光子が露出した露出部を有する長尺状の偏光フィルム積層体の該一方側に液体を接触させる工程、および

該液体接触工程後に該偏光フィルム積層体を塩基性溶液に浸漬させる工程を含み、

該液体が、該塩基性溶液と同一の塩基性溶液である、

非偏光部を有する偏光子の製造方法。

【請求項2】

前記液体を噴射するノズルを用いて、前記偏光フィルム積層体の一方側に前記液体を接触させる、請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

前記液体を前記露出部に直線状に噴射する、請求項1または2に記載の製造方法。

【請求項4】

前記露出部が繰り返し単位を有するパターンで配置されており、該繰り返し単位ごとに前記液体を前記露出部に直線状に噴射する、請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法。